

新フェローの紹介 (2012年)

古藤 浩 (ことう ひろし) 氏



昭和38年5月生まれ

〔学歴〕 平成4年 筑波大学社会学部研究科博士課程単位満了退学 (社会学博士)

〔職歴〕

平成4年 東北芸術工科大学デザイン工学部講師就任

平成19年 東北芸術工科大学デザイン工学部准教授 現在に至る

〔OR学会関係〕 東北支部運営委員, 支部幹事, 支部監事の職務の後, 平成18年より副支部長 (現在も継続中), 平成22年9月福島での「秋季研究発表会」開催では, 支部長を補佐し, 第64回シンポジウムでは, 実行委員長兼オーガナイザー. また支部を代表し, 平成21・22年無任所理事

〔著書等〕 OR学会「研究発表会」での研究発表は30回を超え, 座長の任務も多数回協力されています. 研究論文関係では, 他の学会への投稿を含め, 掲載論文 99件. 著書関連では「新編OR事典-事例編」(日科技連, 2001, 共著)を含め, 共著書籍6編.

古藤氏は, 都市計画関連に研鑽を積まれ, 本学会や日本都市計画学会を中心に, 都市計画分野とOR的手法を結びつけた研究を進めておられます. 研究部会では, 「都市と地域のOR」部会や「持続可能社会のためのインフラストラクチャー戦略」部会等に熱心に参加され, 研究部会の発展, 運営に貢献しています. 他学会での受賞ですが, OR的手法を導入した解析系の研究論文について, 都市計画学会から高い評価を受け, 「論文奨励賞」並びに「年間優秀論文賞」を受賞しておられます.

中島 恭一 (なかしま きょういち) 氏



昭和17年12月生まれ

〔学歴〕 昭和42年 京都大学大学院工学系研究科修士課程修了 (工学博士)

〔職歴〕

昭和42年 姫路工業大学助手

平成2年 富山県立大学工学部教授

平成11年 富山県立大学工学部長

平成13年 富山県立大学 学長

平成22年 富山国際大学 学長

〔OR学会関係〕 平成6年度 平成8年度「意思決定とOR」研究部会幹事

平成12年 春季研究発表会実行委員長

平成12年度 中部支部運営委員 現在に至る

〔著書等〕 信頼性工学, 多値論理, ファジィ論理に関する論文, 研究発表多数

中島氏は信頼性工学, 多値論理, ファジィ論理などの分野で研究成果をあげられ, 研究論文を多数発表しています. 学会活動においては, 富山で開催された2002年春季研究発表会の実行委員長をされています. また, 現在まで, 日本OR学会中部支部の運営委員として, 中部支部の北陸地区の研究活動の中心的存在として活躍されています.

中村 正治 (なかむら しょうじ) 氏



昭和23年4月生まれ

〔学歴〕 昭和47年 名古屋市立大学経済学部卒 (経済学博士)

〔職歴〕

昭和47年 セントラルシステムズ(株) (現 (株)ユーフィット) 入社

昭和48年 (株) 名古屋相互銀行 (現 (株)名古屋銀行) 入社

平成14年 金城学院大学生生活環境学部教授 現在に至る

〔OR学会関係〕 平成6年度 中部支部運営委員 現在に至る

平成10～12年度 評議員

〔著書等〕 Stochastic Reliability Modeling, Optimization and Applications (共編

著, World Scientific), 経済学周辺の確率過程と教育 (共著, 勁草書房) 他, 学術論文50編以上, 国際会議および研究発表多数

中村氏は, 銀行におけるシステム関連業務に確率モデルを適用して実証的かつ数理的解析から業務の最適化について研究をされており, 特にコンピュータシステムの保全の最適方策に関して顕著な業績を挙げておられます. 本学会においては, 長年にわたり中部支部幹事, 運営委員を歴任され, その活動を支えておられます.

吉岡 良雄 (よしおか よしお) 氏



昭和23年3月生まれ

〔学歴〕 昭和53年 東北大学大学院工学研究科情報工学専攻博士課程後期3年修了 (工学博士)

〔職歴〕

昭和53年 岩手大学工学部助手就任

平成元年 弘前大学理学部教授 (転出 昇格)

平成10年 ハルピン師範大学顧問教授 (兼務)

平成16年 弘前大学大学院理工学研究科教授

平成16年 コアテクノ(株)技術顧問 (兼務) 現在に至る

〔OR学会関係〕 昭和55年3月「支部研究会」開催役員を務めて以来, 多くの機会に行事開催の役を務めている. 特に, 岩手や青森での開催行事の際は, 積極的に先導役を務め, 東北支部の活動に尽力. 平成10年4月から東北支部評議員, 平成20年から東北支部監査 (現在も継続中)

〔著書等〕 掲載学術論文は, 国際会議プロシーディングス25編を含め43編. 著書は, 待ち行列関連著書 3冊を含め12冊.

吉岡氏は, 「待ち行列の最適化」や「コンピュータネットワークの最適なトラフィックフロー」および「それらの設計法」に関する研究活動を続けられています. OR学会の研究部会では, 「待ち行列研究部会」に発足当初から参加されています. 本OR学会以外, 電子通信学会, 情報処理学会, そして, 米国IEEE学会に加入され精力的に研究成果を公表しておられます. なお, 岩手大学の在職中や現職中の弘前大学でも多々の学内役職を果たされています.